

そのほかの環境活動

化学物質管理

PCBの管理

PCB(ポリ塩化ビフェニール)は、変圧器の絶縁油などに使用されてきましたが、1970年代に毒性が明確になったことで使用が禁止され、PCB使用機器も、法に定められた基準に従って保管、届け出が必要になりました。現在、国が管理する全国5カ所のPCB処理施設の稼働が始まり、処理施設の操業計画に基づき、順次処理が行われています。

ニチレイグループでは、2007年度にニチレイロジグループの保有機器24基が処理されました。

PRTR対象物質の管理

2007年度はPRTR法\*届出対象物質(取扱量1トン以上)はありませんでした。今後も化学物質の適正管理を継続します。

\*PRTR法:人の健康や動植物の生息、生育に支障を及ぼす可能性のある化学物質が、どのような発生源から、どれくらい環境中に排出されたかなどのデータを集計し、公表する仕組みについて定めた法律

フロンの使用・管理

フロンは、オゾン層破壊の原因物質といわれ、オゾン層破壊係数の高いフロンから順次、生産全廃や管理の規制が行われてきました。

ニチレイグループでは、食品工場や物流センターの冷凍設備の冷媒としてフロンを使用しています。冷媒は、密閉された冷却設備の中で循環していますが、設備管理を適切に行うことで漏れの発生を防ぐとともに、設備の大規模修繕時には法に従った回収などを行っています。

一方、フロンが地球温暖化の原因物質であることも課題となってきました。地球温暖化には冷凍設備の使用電力量も関係するため、省エネルギー性能にも配慮し、新規設備の冷媒選定を進めています。

アスベストへの対応

2005年度の調査において、屋根裏への吹付けなど、飛散の可能性のある状態で発見されたアスベストは、除去などの処置を実施しました。また、事業所の閉鎖などにより解体を行う際には、再調査のうえ、アスベストを含む建材がある場合は、法令を遵守し適切な処置を実施しています。

土壌汚染への対応

土地の売却・購入や賃貸時には適切な情報開示を実施するとともに、必要に応じて土壌汚染状況の調査および適切な対応を実施しています。

2007年度は、(株)ニチレイ・ロジスティクス北海道札幌物流センターおよび(株)ニチレイ・ロジスティクス九州福岡市場事業所の跡地について調査を実施しました。また、新たに(株)ニチレイフーズの子会社となった(株)キューレイについても、調査および対応の実施を確認しています。

水域・大気への排出抑制

水域への排出

食品工場で使用した水は、食品系の有機物や洗剤、殺菌剤などを含んだ排水となりますが、処理設備で浄化し、法令で定められた排出基準を遵守したうえで工場外に排出しています。

大気への排出

食品工場では、ボイラーなどで重油やガスを燃焼する際にNOx(窒素酸化物)やSOx(硫黄酸化物)が発生します。工場では、適正な設備管理により、法令で定められた排出基準を遵守し、総排出量削減を図っています。

ニチレイロジグループでは、輸配送車両についてエコドライブの推進、適正な車両整備、排ガス規制適合車両への切り替えなどを行うことでNOxやPM(粒子状物質)の排出低減を進めています。

オフィス・営業活動における取り組み

ニチレイグループでは、オフィスにおいてもクールビズや消灯励行などの省エネルギー活動、コピー用紙の使用削減や分別・リサイクルなどの廃棄物削減といった環境負荷低減に取り組んでいます。このほか、CO<sub>2</sub>の排出削減に向けて営業車のハイブリッド車への変更、エコドライブ研修の実施、「マイはしエコ運動」などを実施しています。

さらに、従業員一人ひとりが環境保全について考えるきっかけとなるよう、環境に関連した社会貢献活動への参加の呼びかけなども行っています。

蛍光灯を省エネルギータイプに切り替え

ニチレイ東銀座ビルでは、2008年3月に役員フロア・会議室フロアの蛍光灯を、省エネルギータイプに切り替えたほか、ダウンライトを蛍光灯に変更しました。これにより、役員フロア・会議室フロアの電灯の電力使用量を約30%削減しました。

「マイはしエコ運動」

(株)ニチレイフーズ関東信越支社宇都宮営業所では、2008年4月、お取引先様の展示会開催時に、「マイはしエコ運動」を実施しました。これは試食の際に使い捨てられる割りばしをやめ、持ち帰りが可能な「マイはし」に替えようという運動です。ニチレイフーズのロゴを入れた「マイはし」約600本を展示会来場者に配布しました。この運動はほかの事業所にも広がっていきます。



ニチレイフーズのロゴ入り「マイはし」をお取引先様の展示会場で配布

「東京グリーンシップアクション」への参加

東京都庁、NPO法人、企業の3者が協働して、東京都内の保全地域の自然保護活動を行っているのが「東京グリーンシップアクション」です。

ニチレイプロサーヴは、この活動の一環として、2007年7月東久留米市の野火止用水歴史環境保全地域の雑木林の管理保全のため、下草刈りに参加しました。人の背丈ほどもあった下草がきれいに刈られた後は、自然保護活動の「気持ち良さ」を参加者全員で体感することができました。一方、従業員家族で参加した子供たちは、カブト虫を捕まえたり、木や草の名前を教わるなど、NPO法人の自然体験プログラムを楽しみました。今後もこの活動を継続していきます。



「東京グリーンシップアクション」に参加

PETボトルキャップを回収し、ワクチンに換える運動に協力

ニチレイロジグループの(株)キョクレイ大黒物流センターでは、PETボトルのキャップを集めてワクチンに換えるNPO法人の運動に協力しています。この活動を通じて、資源(キャップ)のリサイクルとともに、発展途上国の子供たちの健康に寄与することができます。社内で回収したキャップをNPO法人に送付した後、NPO法人がプラスチック原材料として売却します。キャップ400個が20円に相当し、1人分のワクチンを購入することができます。2008年2月から5月までの間で2,080個のキャップを寄付しました。今後もこの活動を継続していきます。

ニチレイ東銀座ビル、スコレ研修センター、ニチレイ天満橋ビルでも、同様の運動に協力しています。



ニチレイロジグループのキョクレイ大黒物流センターでは回収したキャップをNPOに寄付。リサイクルとワクチン購入に寄与している